

曹洞宗テレホン法話「心の電話」
令和六年六月二十一日〜三十一日／副住職担当
大地と生きる

皆さんはジオパークを知っていますか？ジオパークとは、大地の公園という意味で、さらに詳しく言えば、地球科学的意義のある場所や景観が保護、教育、持続可能な開発のすべてを含んだ総合的な考え方によって管理された、1つにまとまったエリアです。ジオパークは、地球の活動がわかる地質や地形がある場所であるジオサイトで構成されています。私が副住職を務めているお寺は下北ジオパークの中にあり、周辺を多くのジオサイトに囲まれています。

その中の一つである恐山には多くの参拝者が訪れます。恐山は、宇曽利湖という湖のほとりにある恐山菩提寺の周囲を囲んだエリア全体のことを指します。ジオパークについて学ぶと、そのエリアはカルデラ地形であることがわかります。カルデラは火山活動や噴火に伴い、大量の火山噴出物やマグマが地表に出て、大地が陥没することによってできる地形です。ガスの吹き出る荒々しい岩肌は地獄を思わせ、また湖を囲む白砂の浜は極楽を思わせることから、「死ねば死者の魂は恐山に行く」という信仰を生み出しました。

この例のように、それぞれの地域にあるジオ大地の上に、動物や生態系Ⅱエコが広がり、その中でヒトが生活して文化・産業・歴史を築いていることがわかります。ジオパークではこのジオ・エコ・ヒトの三つの要素のつながりを知り、実感することができます。

私はジオパークについて学び、その活動に関わることによって、万物は原因Ⅱ因、さまざまな条件Ⅱ縁によって結果するという因

行事アルバム

「キャンドルライト寺ヨギ2024春」



ねんしよつき
縁生起の教えをより実感できるように became 感じています。
さて、今年の八月三十日から九月一日にかけて、下北ジオパークを会場に、第十四回日本ジオパーク全国大会下北大会が開催されます。この大会が因となり、様々な行事が縁となり、結果としてヒトとヒトのつながりがさらに生み出されることを願っています。さあ、この夏、皆さんの近くにあるジオパークに出かけてみませんか？



第14回日本ジオパークネットワーク全国大会
下北大会の公式HPはこちら！



下北ジオパークの公式HPはこちら！



お知らせ

石段・本堂入口改修工事について

この度、長年の経年劣化によって傷んでいた石段の改修及び手すり設置工事を行いました。また、令和六年度大安寺護持会総会において役員の方々からご要望のあった本堂入口階段への手すり設置工事を行いました。併せて、同場所のすべり止マットの張替を行いました。当寺では、今後も、境内及び建物内のバリアフリー化、参拝時の利便性向上に取り組んで参ります。

